

## 決断できる人になる

株式会社インソース 講師 庭野和子

現代の管理職には、仕事における多種多様な場面で何が最適なのか？を考え、判断・決断する力が求められています。ここ数年においても職場におけるダイバーシティ化が急速に進み、多様な人材が多様な働き方をする時代が現実のものとなってきました。コロナ禍がダイバーシティ推進を加速化したともいえます。

皆さまの中には否応なしにリモートワークに突入された方も多いと思います。空間を共にしない働き方や時間を一緒にしない働き方が推進され、またそのような働き方を受容することも必要です。

管理職の皆様は属性や残業時間に捉われず仕事をアサインし、成果による評価という視点も必要となってきています。このような状況下において管理職に求められるのは明確な判断基準を持ち、スピーディに意思をはっきりと決定する「決断力」を伴うリーダーシップがこれまで以上に必要となります。

加えて、世界各国でリーダーシップを発揮し、国民の支持を得ているリーダー達のCOVID19に対する感染拡大防止対応を見ても「決断力」と「関係者への丁寧な説明」ができる政治トップは危機管理能力も高いと言えます。

決断力を高めるためには判断の観点（視点）を数多く持ち、自分なりの判断基準や相場観を持つことが大切です。しかし、通常業務の中では判断の観点をふやすことはなかなか難しいものです。

今回の研修では数多くのケーススタディを通してグループワークでお互いに意見交換をしていただき、自分には思いつかない判断の観点を知って新たな気づきを得ていただきたいと思います。

また、自分の判断や決断に対して関係者の理解を得るためにはわかりやすい細部への説明も必要です。本研修では説明力に関してもグループワークで実践していただける機会を持ちたいと考えております。

普段はなかなか会う機会がない様々な地域の皆さんと同じテーマでご受講しながら判断力・決断力について再確認して頂ければ幸いです。

皆さまとオンラインでお会いできるのを大変楽しみにしております。



2003年 外資系ブランドでマーケティング・広報部長を歴任。  
2013年 ITC（WTO と国連の合同機関）の日本のコンサルタントに就任。  
2014年 株式会社インソース講師に就任。

外資系ブランドで広報部長を務め、その後 WTO と国連の合同機関にてコンサルタントとして勤務した実績を持つ講師。高い品格と知性を持ちながら、目線を受講生に合わせて、わかりやすくかつ巻き込みながら進めることができる人気の講師。